

令和6年

火災・救急・救助統計



敦賀美方消防組合

目 次

火 災 統 計

令和6年中における火災の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ~ 2
第1表 令和6年火災の概況と前年比較・・・・・・・・	3
第2表 過去10年間の主な出火原因・・・・・・・・	4

救 急 統 計

令和6年中における救急活動の概要・・・・・・・・	5 ~ 6
第1表 最近5か年救急概況の推移・・・・・・・・	7
第2表 最近5か年の署別救急状況・・・・・・・・	8

救 助 統 計

令和6年中における救助活動の概要・・・・・・・・	9
第1表 地域別事故種別救助出場の状況・・・・・・・・	10
第2表 高速自動車道救助出場状況・・・・・・・・	11
第3表 事故種別救助活動状況の推移・・・・・・・・	11

令和6年中における火災の概要

令和6年中に敦賀美方消防組合管内では28件の火災が発生し、建物焼損面積は、180.90㎡、全損害額は4,706万3千円であり、死者1名、負傷者1名が発生している。

1 出火件数

(1) 出火件数

出火件数は28件で、前年と比較して8件増加している。構成市町別では、敦賀市22件、美浜町3件、若狭町（三方地域）3件となっており、前年と比較して敦賀市は6件、美浜町は1件、若狭町（三方地域）は1件増加している。

(2) 火災種別

火災種別は、建物火災が13件（46%）、車両火災が7件（25%）、船舶火災が1件（4%）、その他の火災が7件（25%）となっており、前年と比較して、建物火災は1件、車両火災は5件、船舶火災は1件、その他の火災は1件増加している。

(3) 四季別

四季別にみると次のとおりである。

春季（3月～5月）	6件（建物4、その他2）
夏季（6月～8月）	8件（建物3、車両4、その他1）
秋季（9月～11月）	5件（建物1、車両2、船舶1、その他1）
冬季（12月、1月、2月）	9件（建物5、車両1、その他3）

(4) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.6で、前年と比較して1.1ポイント増加している。

2 損害額

火災による損害額は4,706万3千円で、前年に比べ3億4,355万2千円の減少となった。

火災1件当たりの損害額は168万1千円（前年1,953万1千円）となっている。

火災種別では、建物火災が2,667万円（同3億5,171万8千円）、車両火災が2,034万円（同311万5千円）、次いで船舶火災が5千円（同0円）、その他火災が4万8千円（同3,578万2千円）となっている。

3 焼損面積と焼損棟数

建物火災の焼損面積は、焼損床面積が180.90㎡（前年7,201.

91 m²、焼損表面積は21.29 m² (同46.67 m²) で、1件当たり焼損床面積13.92 m² (同600.16 m²)、焼損表面積1.64 m² (同3.89 m²) が焼損したことになる。

また、焼損棟数は15棟 (同22棟) で、全焼1棟 (同7棟)、半焼1棟 (同3棟)、部分焼7棟 (同7棟)、ぼや6棟 (同5棟) となっている。

4 出火原因

原因別出火件数は、「裸火」が9件で第1位、「摩擦による熱」が5件で第2位、「高温気体による熱」が4件で第3位となっている。

5 死者、負傷者

死者は1人 (前年1人)、負傷者は1人 (同7人) となっている。

6 火災覚知状況

火災覚知状況は、火災報知専用電話 (119番) によるものが24件 (86%) で、そのうち携帯電話によるものが21件となっている。その他は、加入電話2件、その他 (中日本高速) 2件となっている。

以上、令和6年中における管内の火災概要について述べたが、前年と比べ火災件数は増加しているものの、焼損面積及び損害額は大幅に減少している。この背景にあるのは、大規模な事業所における火災が減少した反面、車両火災が多数発生したためであり、管内は交通の要所として変貌しつつあり、工夫した火災予防対策が重要になってくると考える。

火災の出火原因を見てみると、「裸火」による人為的要素が関係する火災が多いものの、以前とは様相が異なり「機械や器具による摩擦熱等」が起因する火災が増加するなど、多種に及んでいる。社会資本は高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されており、今後20年間で、建設・使用後50年以上経過する施設や機器等の割合は加速度的に高くなるため、建物・設備等の適切な維持管理や防火対策を推進するにあたり、より広い年代に分かりやすい広報を実施していく必要がある。

第1表

令和6年 火災の概況と前年比較

(△は減)

区 分	単位	令和6年 (A)	令和5年 (B)	前年比較 (C)	増減率% (C/B)×100
出 火 件 数	件	28	20	8	40.0
建 物	件	13	12	1	8.3
林 野	件	0	0	0	0.0
車 両	件	7	2	5	250.0
船 舶	件	1	0	1	△100.0
そ の 他	件	7	6	1	16.7
焼 損 棟 数	棟	15	22	△ 7	△ 31.8
全 焼	棟	1	7	△ 6	△ 85.7
半 焼	棟	1	3	△ 2	△ 66.7
部 分 焼	棟	7	7	0	0.0
ぼ や	棟	6	5	1	20.0
建 物 焼 損 床 面 積	m ²	180.90	7,201.91	△ 7,021.01	△ 97.5
建 物 焼 損 表 面 積	m ²	21.29	46.67	△ 25.38	△ 54.4
林 野 焼 損 面 積	a	0	0	0	0.0
死 者	人	1	1	0	0.0
負 傷 者	人	1	7	△ 6	250.0
り 災 世 帯 数	世帯	6	12	△ 6	△ 50.0
全 損	世帯	0	1	△ 1	0.0
半 損	世帯	3	5	△ 2	400.0
小 損	世帯	3	6	△ 3	△ 50.0
り 災 人 員	人	13	36	△ 23	△ 63.9
損 害 額	千円	47,063	390,615	△ 343,552	△ 88.0
建 物	千円	26,670	351,718	△ 325,048	△ 92.4
林 野	千円	0	0	0	0.0
車 両	千円	20,340	3,115	17,225	553.0
船 舶	千円	5	0	5	△100.0
そ の 他	千円	48	35,782	△ 35,734	△ 99.9
1 件 平 均 損 害 額	千円	1,681	19,531	△ 17,850	△ 91.4
1 日 平 均 損 害 額	千円	129	1,070	△ 941	△ 87.9
建 物 火 災 の 1 件 平 均 損 害 額	千円	2,052	29,310	△ 27,258	△ 93.0
建 物 火 災 の 1 日 平 均 損 害 額	千円	73	964	△ 891	△ 92.4
建 物 火 災 の 1 件 平 均 焼 損 床 面 積	m ²	13.92	600.16	△ 586.24	△ 97.7
建 物 火 災 の 1 日 平 均 焼 損 床 面 積	m ²	0.49	19.73	△ 19.24	△ 97.5
建 物 火 災 の 1 件 平 均 焼 損 表 面 積	m ²	1.64	3.89	△ 2.25	△ 57.8
建 物 火 災 の 1 日 平 均 焼 損 表 面 積	m ²	0.058	0.128	△ 0.070	△ 54.7
住 民 1 人 当 た り 損 害 額	円	601	4,941	△ 4,340	△ 87.8
出 火 率		3.6	2.5	1.1	44.0

人口(78,201人 令和6年4月1日現在)

第2表

過去10年間の主な出火原因

年別	第1位	(件)	第2位	(件)	第3位	(件)
平成27年	ストーブ	2				
	放火	2				
	たばこ	2				
	たき火	2				
平成28年	不明	4	電気配線	3		
	たばこ	4	たき火	3		
平成29年	たばこ	5	炭火	2		
			排気管	2		
平成30年	たばこ	4	排気管	3	不明	2
	たき火	4				
令和元年	たばこ	5	電気機器	2		
			電灯・電話等の配線	2		
令和2年	こんろ	4	たばこ	3	電灯・電話等の配線	2
			裸火	3	電気機器	2
					ブレーキライニング	2
			バーナー	2		
			不明	2		
令和3年	排気管	2				
	交通機関内配線	2				
令和4年	電灯・電話等の配線	3	たき火	2		
	たばこ	3	こんろ	2		
			配線器具	2		
令和5年	たばこ	3	こんろ	2		
			配線器具	2		
			たき火	2		
			放火	2		
令和6年	裸火	9	摩擦による熱	5	高温気体による熱	4

令和6年中における救急活動の概要

1 救急件数及び搬送人員の状況

令和6年中の救急出場件数は、3,794件（対前年比69件、約1.9%増）、搬送人員は3,371人（対前年比33人、約1.0%増）であり、搬送人員における年齢別では、高齢者が2,229人で全体の約66.1%を占めている。また、人口1万人当たりの救急出場件数は約485件、搬送人員は約431人で、住民約23人に1人が救急車によって搬送されたことになる。

2 事故種別毎の救急出場件数状況

救急出場件数を事故種別毎にみると、第1位が急病によるものが最も多く2,528件（全体の約66.6%）、次いで一般負傷が613件（同約16.2%）、その他（転院搬送等）が323件（同約8.5%）となっている。なお、転院搬送303件のうち、111件が管外転院搬送（106件が県内医療機関、5件が県外医療機関）となっている。

3 傷病程度別搬送人員の状況

搬送人員3,371人のうち、傷病の程度が入院を必要としない軽症が1,726人（全体の約51.2%）、入院を必要とする中等症が1,261人（同約37.4%）、重症が323人（同約9.6%）、死亡61人（同約1.8%）となっている。

4 急病による搬送人員の状況

急病による搬送人員2,255人のうち、その他を除く疾病分類別では、消化器系の193人（全体の約8.6%）が最も多く、以下心疾患が163人（同約7.2%）、呼吸器系153人（同約6.8%）、脳疾患145人（同約6.4%）となっている。

5 救急隊員の行った応急処置の状況

搬送人員3,371人のうち、3,369人に応急処置を実施しており、そのうち特定行為は、除細動が9件、気管挿管が12件、静脈路確保が42件（心肺停止前14件、心肺停止後24件）、ブドウ糖投与4件、薬剤投与が21件実施となった。

6 高速自動車国道における救急出場の状況

高速自動車国道における救急出場件数は25件、搬送人員は18人で、事故種別の内訳としては、交通事故12件、急病10件、一般負傷1件、加害1件、自損行為1件である。

7 ドクターヘリ要請状況

令和3年5月24日から運行開始となった福井県ドクターヘリは、早期医療介入により、高度な医療処置の迅速な実施が実現し、福井県の医療体制の強化が図られた。令和6年における当組合の要請件数は、30件となっており、その内、14件搬送されている。

また、平成30年から運航開始されている、京滋ドクターヘリについては、嶺南地域の救急医療をカバーするため、継続運航しているところであり、令和6年については、要請件数が9件、その内2件が搬送されている。

以上が、令和6年中の敦賀美方消防組合管内における救急活動の概要である。

救急出場件数は過去最多となっており、更に軽症傷病者の割合が、全体の約51.2%と依然高止まりしていることから、令和6年10月に福井県内で運用が開始となった#7119をはじめとした、救急車の適正利用に繋がる、効果的な情報の発信をしていかなければならない。

救急救命士法の施行から30年以上経過し、救急業務の質の向上のため、救急救命処置が拡大されてきた。救急現場という病院内と異なった環境で行われる救急救命処置は、安全かつ迅速性が求められ、今日においては、経験豊富な救急救命士が指導的立場に立ち、住民からの信頼の確保に繋げるために、日々努力を重ねているところである。今後も、「災害に強い安全で安心なまちづくり」のために、あらゆる事態への対応に備え、関係機関との連携体制の充実強化を図っていく。

第1表 最近5か年救急概況の推移

区 分		年 別		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		件 数	対前年増減比					
救急 出場	件 数	3,051	3,229	3,624	3,725	3,794		
	対前年増減比	△16.4	5.8	12.2	2.8	1.9		
搬 送 人 員	人 員	2,811	2,975	3,269	3,338	3,371		
	対前年増減比	△16.1	5.8	9.9	2.1	1.0		
一 日 平 均	出場件数	8.3	8.8	9.9	10.2	10.4		
	搬送人員	7.7	8.2	9.0	9.1	9.2		
管 内 人 口		81,928	81,103	80,052	79,052	78,201		
人口1万人当たりの 出場件数		372.4	398.1	452.7	471.2	485.2		
事 故 種 別 出 場 件 数	火 災	18	14	21	17	21		
	自然災害			1	1	1		
	水難事故	8	15	8	8	7		
	交通事故	193	194	238	203	187		
	労働災害	38	37	43	47	46		
	運動競技	13	26	23	28	34		
	一般負傷	484	525	586	597	613		
	加 害	5	7	9	5	7		
	自損行為	39	36	42	31	27		
	急 病	1,973	2,064	2,343	2,462	2,528		
	その 他	280	311	310	326	323		
事 故 種 別 搬 送 人 員	火 災	4		2	5	1		
	自然災害			1	1	1		
	水難事故	1	7	3	6	4		
	交通事故	192	190	214	185	156		
	労働災害	38	36	40	44	46		
	運動競技	13	25	22	28	31		
	一般負傷	448	485	542	540	554		
	加 害	5	5	8	5	4		
	自損行為	21	26	32	21	18		
	急 病	1,828	1,916	2,129	2,213	2,255		
	その 他	261	285	276	290	301		

第2表 署・事故種別別救急状況

所属区分	敦賀消防署				美浜消防署	三方消防署	合 計			
	本 署		気比分署							
事故種別	件数 人員									
	出 場 件 数	搬 送 人 員								
火 災	18	1	2		1				21	1
自然災害	1	1							1	1
水難事故	4	3	2	1	1				7	4
交通事故	79	69	75	62	21	16	12	9	187	156
労働災害	13	13	22	22	7	7	4	4	46	46
運動競技	18	16	7	7	7	6	2	2	34	31
一般負傷	236	214	235	208	78	71	64	61	613	554
加 害	3	1	3	2			1	1	7	4
自損行為	13	8	11	8			3	2	27	18
急 病	1,043	929	887	792	351	310	247	224	2,528	2,255
そ の 他	211	199	88	79	8	8	16	15	323	301
合 計	1,639	1,454	1,332	1,181	474	418	349	318	3,794	3,371

令和6年中における救助活動の概要

1 救助出場件数及び救助人員の状況

種別 年別	救助出場件数	活動件数	救助人員
令和6年	30件	15件	16人
令和5年	31件	16件	19人
前年比	-1件	-1件	-3人

2 事故種別出場件数の状況

事故種別 年別	火災	交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害 事故	機械等に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂 事故	その他の 事故	合計
令和6年	0件	13件	5件	0件	0件	4件	0件	0件	8件	30件
令和5年	2件	18件	3件	0件	1件	2件	0件	0件	5件	31件
前年比	-2件	-5件	+2件	±0件	-1件	+2件	±0件	±0件	+3件	-1件

3 構成市町別及び管轄外出場件数の状況

出場件数を構成市町別で見ると、敦賀市22件、美浜町4件、若狭町4件であり、敦賀美方消防組合管轄外は、出場していない。

第1表 地域別事故種別救助出場の状況

地域別		種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	風水害等	機械による事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
敦賀市	市街地			5	1				2			2	10
	栗野			1					1				2
	中郷			1									1
	東郷			1								1	2
	愛発			1								1	2
	東浦			2	1								3
	西浦				2								2
	小計			11	4				3			4	22
美浜町	耳地区			1								2	3
	西郷地区												
	山東地区				1								1
	小計			1	1							2	4
若狭町 (三方地域)	三方地区												
	西田地区								1			2	3
	三十三地区			1									1
	小計			1					1			2	4
管外	南越消防管内												
	若狭消防管内												
	湖北地域管内												
	高島消防管内												
	その他												
	小計												
合計				13	5				4			8	30

第2表 高速自動車道救助出場状況

番号	発生日	覚知時刻	事故発生場所	活動有無	事故種別	救助人員	出場車両	出場人員
1	8/3	4時30分	敦賀市葉原 北陸自動車道下り54. 2KP付近	有	交通	1	4	10
2	9/11	14時32分	敦賀市刀根 北陸自動車道上り38. 8KP付近 ※道路工事のため対面通行区間	無	交通	0	5	12

第3表 事故種別救助活動状況の推移

年 別	種別 件数	火	交	水	自	風	機	よ	酸	ガ	破	事	合
		災	通	難	事	然	械	建	欠	ス	裂	其	計
		故	故	事	故	災	に	物	事	及	事	の	
令和2年	出場件数	2	16	6				1				4	29
	活動件数	2	7	4				1				3	17
	救助人員	3	8	3				1				2	17
令和3年	出場件数	1	10	9				1				5	26
	活動件数	1	8	7				1				2	19
	救助人員	8	8	6				1				3	26
令和4年	出場件数		30	7				2				6	45
	活動件数		13	5				2				2	22
	救助人員		16	4				2				2	24
令和5年	出場件数	2	18	3			1	2				5	31
	活動件数	2	7	2			1	1				3	16
	救助人員	1	9	2			1	1				5	19
令和6年	出場件数		13	5				4				8	30
	活動件数		4	2				4				5	15
	救助人員		5	2				4				5	16

若者 女性 学生

消防団員募集!

YouTube / 敦賀美方消防組合

敦賀美方消防組合の公式YouTubeで
消防団PR動画をご覧いただけます。



私たちは これが本業ではありません。

仕事・家族・消防団、ハードルは高くなかった。

年齢に関係なく仲間ができて、地域のつながりが増えるのも「いいな」と思っています。

自分の時間がなくなるということはありませんし、活動したら活動した分だけ報酬があるのもメリット。

仕事とプライベート、消防団活動の両立は難しくないと思います。



地域に貢献できる消防団について、一度考えてもらえると嬉しいです。

美浜消防団 第2分団第7部 部長
石丸 翔一 Shoichi Ishimaru

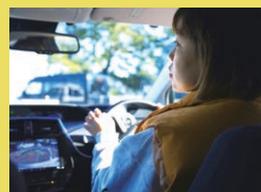


自分に合った活動のしかたがあった。

防災・防火の啓発活動を中心に活動しています。

スーパーの前でチラシを配ったり、体験イベントで子どもたちに防火服を着せてあげたりします。

休日はドライブやカラオケ、ソフトバレーをしたりと、プライベートも消防団の活動も楽しんでいます。



プライベート優先の時があっても大丈夫です。無理なく長く続けたい。

敦賀消防団 女性活動班 団員
森川 ひより Hiyori Morikawa



消防団は男女問わず入団することができます。

- 18歳以上
- 敦賀市・美浜町・若狭町(三方)に居住(または勤務・通学)の方

敦賀美方消防協会

消防団についてのお問い合わせは、敦賀美方消防組合消防本部 (TEL.0770-22-9991) か、お住まいの市町村の消防署までお電話ください。ご質問なども気軽にお尋ねください。

お問い合わせ

敦賀市	敦賀消防団 (敦賀消防署)	☎ 0770-22-9990
美浜町	美浜消防団 (美浜消防署)	☎ 0770-32-1190
若狭町	三方消防団 (三方消防署)	☎ 0770-45-0119

敦賀美方消防組合HP

